

授業科目名	情報社会とA I	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	基礎教育科目	開講時期	前期（4月5日～7月29日）
学部・学科等	シティライフ学部	曜日	木曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	3限（13:00～14:30）
標準対象年次	1学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮シティキャンパス
担当教員名	高丸圭一 教授		
電話番号（代表者名）	028-650-6611 （学務課 浮須 [ウキ]）	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業概要></p> <p>私たちが生きる情報社会とはどのようなものかを最初に学び、コンピュータリテラシ・ネットワークリテラシを身につける。その上で、データサイエンスの基礎となるデジタルデータの取り扱い方、データ分析のためのAI技術、データに基づく課題解決の事例などについて学ぶ。この科目はシティライフ学部の教育目標（カリキュラムポリシー）のうち、「② 専門的な知識を修得する前提として基本的な知識を修得するとともに、情報収集・情報処理能力を身につけさせる。」の修得を目的とする。</p> <p><到達目標></p> <p>① 情報社会の現状について基本的な知識や考え方を身につける。 ② コンピュータリテラシ、ネットワークリテラシに関する基本的な知識や考え方を身につける。 ③ コンピュータ上で扱われるデジタルデータに関する基本的な知識や取り扱い方を身につける。 ④ AI技術を含むデータサイエンスの基礎的な知識や考え方を身につける。</p> <p><授業計画></p> <p>第1週 大学生活とコンピュータ／情報とは何か 第2週 情報社会①：情報社会とは／個人情報端末の普及 第3週 情報社会②：メディアのソーシャル化 第4週 情報社会③：通信と放送の融合／ユビキタス社会 第5週 情報社会④：情報社会が抱える問題（情報システムに生じる問題、情報格差） 第6週 データサイエンス①：AIとは何か 第7週 データサイエンス②：AIによる課題解決／仕事とAI 第8週 データサイエンス③：AI研究の最新動向 第9週 データサイエンス④：デジタルの情報表現 第10週 データサイエンス⑤：音声情報・画像情報におけるデジタルの情報表現 第11週 コンピュータリテラシ①：コンピュータの基本的な動作原理、および、内部の構造を概観し、ハードウェアのしくみと働きを学ぶ。 第12週 コンピュータリテラシ②：コンピュータの基本動作を司るプログラムであるオペレーティングシステム（OS）の役割について学ぶ。 第13週 コンピュータリテラシ③：コンピュータの利用目的によって選択的に使用されるアプリケーションソフトウェアとファイルの形式について学ぶ。 第14週 ネットワークリテラシ①：現代のコンピュータにおいて重要な役割を担っているネットワークの基本的な役割、コンピュータをネットワークに接続するための手順を学ぶ。 第15週 ネットワークリテラシ②：インターネットを介してやりとりされる情報とセキュリティ技術について学ぶ。</p>		

<教科書・参考書・教材と入手方法>

教科書 なし

参考書

- 徳野淳子・山川修・田中武之 『情報リテラシー（第4版）』 森北出版（ISBN: 978-4627827349）
- 奥村晴彦・佐藤義弘・中野由章(監) 『キーワードで学ぶ最新情報トピックス 2024』 日経 BP 社（ISBN: 978-4296070831）
- 野口竜司 『文系 AI 人材になる』 東洋経済新報社（ISBN: 978-4492762516）
- 野口竜司 『ChatGPT 時代の文系 AI 人材になる』 東洋経済新報社（ISBN: 978-4492047392）
- 浅岡伴夫・松田雄馬・中松正樹 『AI リテラシーの教科書』 東京電機大学出版局（ISBN: 978-4501557508）
- 福馬智生・加藤浩一 『世界一カンタンで実戦的な文系のための人工知能の教科書』 ソシム（ISBN: 978-4802612470）

<成績評価法>

講義内の提出課題（10%）、期末筆記試験（90%）

<教員からのメッセージ>

- ①事前・事後学修として、参考書に挙げた書籍を中心に AI に関連する本を積極的に読むようにしてください。
- ②分からないことがあれば、電子メールやオフィスアワーを利用して質問してください。
- ③本講義は、経産省国家資格「ITパスポート試験」の出題範囲のうち、テクノロジー系の一部に該当します。